

120710 モノサシトンボ

山麓部のため池周辺の樹林内で、体長5cmほどの大型のイトトンボに出会いました。

このイトトンボ、よく見ると腹部の各節の基部に白い紋があり、それがまるで“ものさし”の目盛りみたいに見えます。

そのために、「モノサシトンボ」と名付けられました。

主に平地や丘陵地の、周辺に樹林のある池や湿地など、薄暗い場所を好んで生息しています。

比較的低いところを、ゆっくりとしたスピードで移動しますので、写真撮影をしやすい種だと言えるかも知れませんが、蚊にさされる覚悟は必要ですね...

写真 : モノサシトンボ【成熟】

淡青色で、足は「ルーズソックス」でも履いているかのように白く見えます。

写真 : モノサシトンボ【成熟】

淡緑色をしていますが、時に と同じような体色になる個体もあるようです。

写真 : モノサシトンボ【未成熟】

地色は黄色をしていますので、まだ成熟前の個体のようです。

足の白さが際立っていますので、 ではないでしょうか？

写真 : モノサシトンボ【ペア】

前が 、後ろが ですが、つながって枝にとまっていたました。

そしてこの直後に...！（「写真」へ続く）

写真 : モノサシトンボ【ペア2】

前の が枝から手を離し、立ち上がったのです！

何ともアクロバチックな体勢ですね。

がこの姿勢で、水面まで伸びた藻や水面付近の草に産卵する姿をよく見ます。

写真 と は、昨年「万博記念公園」内の池で撮影したものです。









